すまいるん vol.70

社会福祉法人 恩賜財団 済生会
済生会熊本福祉センター

就労継続支援A型・B型 就労移行支援 済生会かがやき
幼保連携型 認定こども園 済生会しらふじ子ども園
児童発達支援センター 済生会なでしこ園
就労継続支援B型 生活介護 済生会ほほえみ
済生会グループホーム事業所
済生会熊本福祉相談支援センター
就労継続支援A型・B型 済生会ウイズ
熊本市障がい者相談支援センターさいせい
熊本県地域生活定着支援センター

こんにちは！！済生会熊本福祉センターです。
私達の福祉センターは、認定こども園、児童発達支援センター、地域生活定着支援センター、障がい福祉サービス事業所で構成されています。
園児・利用者・従業員・職員総勢約620名が毎日『すまいるん』で頑張っています！！

済生会熊本福祉センターの理念及び基本方針

理　念　一人ひとりを尊重し、共に生きる社会の実現をめざします。

基本方針
- ライフステージに応じた自立を支援します。
- 専門性と施設機能を活かし、地域社会に貢献します。
- 利用者主体の福祉を実践します。

体験会特集

済生会ウイズ　済生会ほほえみ

ウイズ体験会

ウイズでは8月22日(火)と23日(水)に就労体験会を開催いたしました。2日間で5組の方々に参加していただき、ウイズではどのような仕事をしているのか等、実際に作業の様子を見ていただきながらご紹介いたしました。また、今回の体験会はクリーニング部門と食品部門の両方を体験していただきたいと考え、今までにはなかったツアー形式での実施となりました。そうしたことで短い時間でしたが、両方を知っていただくことができました。見学後は、職員からクイズの出題があり参加者の方に最後まで楽しんでいただけたかと思います。利用者のみなさんは、黙々と作業に取り組まれており、社会人の先輩として働く姿を見せられていました。

ほほえみ体験会

7/29(土)、8/26(土)ほほえみ体験会を2日間開催し、9組の各支援学校の生徒さんとご家族の方が参加されました。利用後のイメージに繋がるよう、就労継続支援B型パン工房ふわりではパン作り体験、生活介護ではペタンク体験やもみじリースづくり体験を行って頂きました。

利用者の皆さんも体験に来られた生徒さんやご家族の姿を見て“イキイキとした姿を見せよう！”と意気込む様子でした。体験会後のアンケートでは、「作業工程がわかりやすく、とても良い環境だなと思いました」「生活介護のスペースが充分とられている事がおどろきました」など、有り難いお声を頂いております。

済生会しらふじ子ども園

お泊り保育

7月28日（金）29日（土）の2日間で、熊本市北区にあります「雑草の森」の施設をお借りして、年長児のお泊り保育を行いました。当日は天気も良く、暑い日でしたが、行く途中で寄った江津湖では、水の冷たさを感じながら、網をつかって小エビや小魚を捕まえて遊びました。

雑草の森では、スポーツチャンバラやスイカ割りをしたり、木工教室をしたり、また、夕食の準備では、男の子はまき割り、女の子は食材切りに分かれて協力してカレーを作ったりと、楽しいことがいっぱいありました。たくさん遊んだので、子どもたちも寝袋に入るとすぐに夢の中でした。

帰って来た子どもたちは、お母さんたちと離れて過ごすことができた達成感とお家の人に会えた嬉しさで、安心した表情が見られました。楽しい2日間になったようです！

インスタはじめました！

9月1日よりインスタを始めました。ほほえみふわり、事務局の2アカウントを開設済みで、かがやきでも準備中です。ふわりのアカウントでは、普段みんなで製造を行っているパンや焼き菓子の紹介を、事務局のアカウントでは、センターの様々な取り組みや求人情報を発信していきます。インスタグラムアプリで検索して頂き、是非ともフォローをよろしくお願いします！

ふわり：fuwari_hohoemi
事務局：fukushi_saiseikaikumamoto

済生会かがやき　済生会ほほえみ　済生会ウイズ

天明夏祭り

8月19日（土）に天明まちづくりセンターにて「天明地域市民のつどい」が開催され、かがやき、ほほえみ、ウイズからバザーへの出店を行いました。コロナの影響でこれまで中止されており、久々の開催となりました。当日は夕立の心配もありましたが、かがやきからアメリカンドッグやラスク、手作りヘアゴム、ほほえみからパン、ウイズから手作りアクセサリーなどの販売を行い、多くの方にお買い求めいただきました。また、福祉センターの地域連携委員会のメンバーが設営や開催準備を行いました。ステージでは地域の団体による楽器演奏やプロジェクションマッピングなどもあり、大変盛り上がりました。

アビリンピック結果報告

済生会かがやき

6月24日(土)、障がい者技能競技大会（アビリンピック）の熊本県大会がポリテクセンターにて行われ、かがやきからはビルクリーニング部門に髙松さん、桟敷野さん、大關さんの３名が出場されました。課題に沿って掃除機がけ、モップがけを行い、速さや正確さを競いました。結果は、髙松さんが金賞を受賞し、全国大会出場を決めました。また、他２名も初出場ながら桟敷野さんが銅賞を受賞しました。大關さんも練習の成果を発揮し健闘されました。３名とも、作業の合間の時間を使い練習に励まれた成果だと思います。11月の全国大会に向け、これからまた練習に取り組んでいきます。

普及啓発活動を行いました

地域生活定着支援センター

地域生活定着支援センターでは、８月に開催された熊本市自立支援協議会、熊本市中央ブロック社会福祉士連絡会、養護老人ホーム施設長会議に出席し、センターの事業説明を行いました。

今回出席した会議は、福祉専門職の方の出席が多く、計125名の方に対して、触法障がい者、高齢者が抱える現状と課題について説明させて頂き、事業説明後に様々な質問を頂くことができました。

刑務所等を出ても、住むところも身寄りもなく、「生きづらさ」や「孤立感」を抱えている障がい者や高齢者が多くいます。今回のような普及啓発活動を通して、少しでも刑余者支援に関する地域の理解が得られることを切に願っています。

ほのぼのmore決起会

事務局

2023年９月１日より、障害福祉支援記録・請求管理システム「ほのぼのmore」を導入します。

かがやき、ほほえみ、ウイズ、グループホーム、相談支援センター、事務局で使用します。

クラウドサービスで支援記録や請求を一括して管理できるので、これまでと比べてデータの安定性や保存性が更に高まります。

ほのぼのmoreを使用開始するにあたって、利用する職員の気持ちや足並みを一つにするため８月21日に決起会を行いました。新たなシステムとなるため、使い方を覚えたり運用を決めたりとやることは盛り沢山ですが、職員一丸となってよりよい支援を目指して頑張っています！

第20回 春日ぼうぶらまつりで啓発活動！

相談支援センターさいせい

8月5日（土）に春日ぼうぶらまつりに参加し、障がい理解啓発活動として、「障がいに関するマークを知ろう」というゲームコーナーを出店しました。主に小学生やその保護者の方々が興味を持って立ち寄ってくださり、ゲームを通して障がいに関するマークの種類や意味、設置されている場所などの情報提供を行いました。小学生の中に「見たことあるよ！」と言ってくれるお子さんもおり、今回のような地道な啓発活動を継続していくことで、地域の中で、障害のある方もない方も、互いに地域の一員として認め合って安心して生活できる地域ができていくのだと実感しました。

発　行　所
済生会熊本福祉センター
発行責任者　宮川　栄助
編　　集　広報委員会
熊本市南区内田町3560－1
TEL　096-223-3330
FAX　096-223-3429
https://www.sk-fukushi.jp/